

都市再生整備計画 事後評価シート原案

遠軽地区

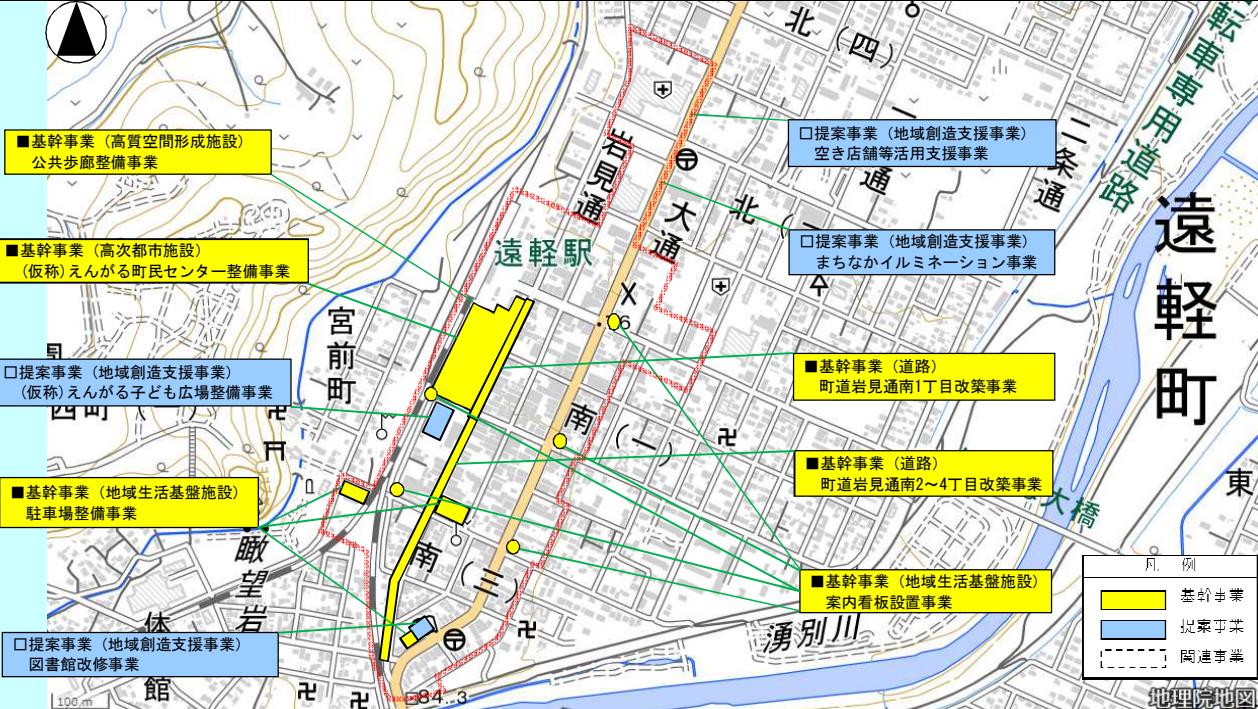
令和7年12月

北海道遠軽町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道	市町村名	遠軽町	地区名	遠軽地区			面積	29ha			
交付期間	平成31年度～令和5年度	事後評価実施時期	R7	交付対象事業費	3188	国費率	0.4					
事業名												
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	町道岩見通改築事業、駐車場整備事業、情報板整備事業、鉄道広場整備事業、公共歩廊整備事業、(仮称)町民センター整備事業									
		提案事業	図書館改修事業、空き店舗等活用支援事業、(仮称)えんがる子ども広場整備事業、まちなかイルミネーション事業、SL等移設事業									
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		基幹事業	鉄道広場整備事業			転車台移設や復元が設計段階で不透明となり、実施したとしても事業費が増額になる可能性があり、総合的に勘案し取り止めとした。			なし			
	新たに追加した事業	提案事業	SL等移設事業			鉄道広場整備事業取り止めによる。			なし			
		基幹事業	なし			—			—			
	交付期間の変更	提案事業	なし			—			—			
		当 初	令和1年度～令和5年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		従前値	目標値	数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定期		
	指標1	活気あるまちづくり		%	16.4%	H26	20.0%	R5	モニタリング 19.8%	△ あり なし	遠軽町民20歳以上を対象に3千人をランダムにピックアップし、実施した結果が0.2%届かなかったが、高校生を対象に行なったアンケートでは59.8%が「活気がある」と回答結果が出ていることから指標達成と感じている。	—
		JR遠軽駅平均乗降人数		人/日	135人／日	H29	138人／日	R5	モニタリング 133人／日	× あり なし ○	コロナ禍に公共交通離れが進み、現在は少しずつ回復の兆しがみられ、コロナ以前まで近づいている。一方で学生の公共歩廊の利用が多く見られ、施設と駅を結び有効活用されている。	—
	指標3	空店舗率		%	26.7%	H29	21.0%	R5	モニタリング 22.9%	△ あり なし	目標としていた事業活用をした空き店舗10件減は達成したが、コロナ禍の影響で閉店した店もあり数値的には僅かに届かなかった。	—
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		従前値	目標値	数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定期		
	その他の数値指標1	なし										
	その他の数値指標2	なし										
	その他の数値指標3	なし										
4)定性的な効果発現状況	・整備された施設は、子どもから大人まで多くの利用者がおり、賑わいと明るさのあふれるまちづくりの創出につながった。 ・JR遠軽駅と駅前広場の高低差が約4mあったが階段でのアクセスしかできなかつたが、メトロプラザからバリアフリーのアクセスが可能となった。											
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング		なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	官民連携による取組		なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築		なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

遠軽地区(北海道遠軽町) 都市再生整備計画事業の成果概要											
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値				
大目標 中心市街地に新たなぎわいを生み、人と人の交流を創出する 目標1:芸術・文化活動の拠点施設整備による中心市街地の活性化 目標2:にぎわいと明るさのあるまちづくりの創出 目標3:公共交通環境の整備による中心市街地への誘導 目標4:空き店舗等の活用による商店街の再生	活気あるまちづくり	単位:%	16.4% H26	20.0% R5	19.8% R6						
	JR遠軽駅平均乗降人数	単位:人／日	135人／日 H29	138人／日 R5	133人／日 R6						
	空店舗率	単位:%	26.7% H29	21.0% R5	22.9% R6						
		単位:	H	R	R	R					
		単位:	H	R	R	R					
 <p>遠軽町芸術文化交流プラザ(メトロプラザ)</p>		 <p>遠軽駅周辺の地理院地図</p> <ul style="list-style-type: none"> ■基幹事業（高質空間形成施設） 公共歩廊整備事業 ■基幹事業（高次都市施設） (仮称)えんがる市民センター整備事業 □提案事業（地域創造支援事業） (仮称)えんがる子ども広場整備事業 ■基幹事業（地域生活基盤施設） 駐車場整備事業 □提案事業（地域創造支援事業） 図書館改修事業 ■基幹事業（道路） 町道岩見通南1丁目改善事業 ■基幹事業（道路） 町道岩見通南2~4丁目改善事業 ■基幹事業（地域創造支援事業） まちなかイルミネーション事業 ■基幹事業（道路） 町道岩見通南1丁目改善事業 ■基幹事業（地域生活基盤施設） 案内看板設置事業 			 <p>まちなかイルミネーション(ライトアップ)</p>						
 <p>遠軽町子ども屋内遊戯施設(キッズメトロ)</p>		 <p>遠軽町図書館(キッズスペース)</p>			 <p>岩見通1丁目(一方通行⇒雙方向通行)</p>						
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> メトロプラザの建設により、老朽化した公共施設を統廃合することで利便性が向上し、利用者が増加した。また、音楽活動が盛んであり練習や披露の場ができたことにより「音楽のまち」として活気が強まった。 遊休施設の利活用を行い、住民アンケートで要望の多かった屋内遊戸場を建設、町内外から多くの来場者が来ており、まちなかの賑わいを創出している。 新たな芸術・文化の拠点ができ、中心市街地に人が流れるようになった。防災機能を備え付けた施設であり、住民の安全・安心につながるようになった。 										
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> メトロプラザは新たな芸術・文化の拠点として、年齢を問わず住民から親しまれる施設として、各イベントの実施や日常利用しやすい施設を目指す。 更なる施設利用者の維持・向上のため、施設の環境整備や人が集まるイベント等の実施に努める。 中心市街地に人が流れるにより、賑わいや人との交流が生まれることにより、空き店舗の減少や商店街の活性化につなげる。 防災機能を備え付けた施設として防災訓練等を実施し、災害時の住民意識の向上と強化に努める。 										